

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、桐原、本上
2. 山城／ルート 八が岳・阿弥陀南稜～北稜
3. 交通手段 車
4. 行動記 <入山日 2017 年 3 月 18 日><下山日 2017 年 3 月 20 日>

1日目					山行	5時間54分	休憩	27分	合計	6時間21分
S	スタート地点	07:51	08:23	舟山十字路	08:55	南稜広河原取付	08:56	11:43	立場岳	11:53
12:17	青ナギ	13:02	無名峰	13:18	14:12	P1とP2のコル	泊			
2日目					山行	3時間49分	休憩	53分	合計	4時間42分
泊	P1とP2のコル	07:22	10:32	阿弥陀岳	11:25	11:43	中岳のコル	11:50	中岳のコル登山道水場	
12:04	行者小屋	泊								
3日目					山行	6時間53分	休憩	23分	合計	7時間16分
泊	行者小屋	05:04	05:35	中岳のコル登山道水場	05:38	08:20	阿弥陀岳	08:40	12:00	舟山十字路
12:20	スタート地点	G								

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

- 阿弥陀から行者小屋への下りは文三郎新道を予定していたが、天候、雪面状況から判断して中岳コルから中岳沢を 5 分ほどで一気に下った。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

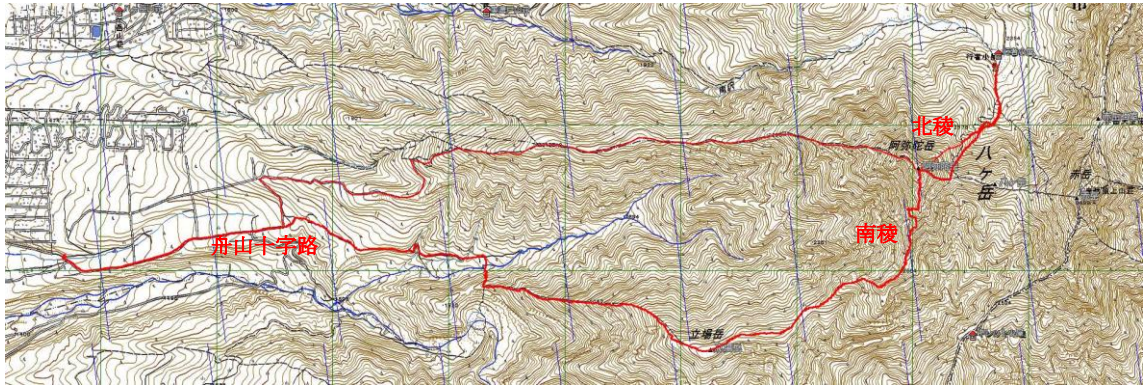
- なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

- なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- 南稜の核心部である P3 のガリーはスタカットで 3 ピッチ。1 ピッチ目ガリー内は完壁に凍結していてアイゼンの爪が刺さらない箇所が数か所あった。緊張するところである。取付き部のリングボルトが雪面から掘り起こされていたのでセルフビレーが取れた。大岩の下でピッチを切り、2 ピッチ目は正面岩下でランニングビレーを取って上部の立木で確保、3 ピッチ目は雪壁を越えて稜線に出る。
- 南稜 P4 のトラバースは念のためロープを出してフィックスで通過する。
- 南稜 P1 と P2 のコルには先行していた 3 人パーティのみで意外と登山者がいなかったおかげで我々のペースで登れた。
- 北稜は第一岩峰からロープを出してスタカットで登る。第二岩峰は強風ブリザードで一瞬のうちに眼鏡に雪が氷結する厳しいピッチになった。岩峰をあきらめ雪壁を 2 ピッチ登ってナイフリッジに出る。そこからはロープを外して慎重に雪壁を上って阿弥陀岳山頂に出る。山頂も強風で雪が舞い上がっていた。
- 舟山十字路への林道は凍結していたので別荘地外れに駐車して舟山十字路まで 30 分歩いた。
- 行者小屋テン場には多くのテントが張られおり、水場もあるので登山者の多い赤岳鉱泉より泊適地と思う。



立場岳付近からの
南稜



P1 と P2 のコルから
P2、P3、P4 を望む



凍結した P3 ガリー
2 ピッチ目



P4 トラバースは
フィックスを張っ
て通過する



手前の尾根が南稜、
奥は存在感のある
権現岳



行者小屋
営業してたので
ビールがいただけ
ました。



北稜を終えて
阿弥陀岳山頂
風がきついが陽
ざしがありがた
い。



阿弥陀岳から御小
屋尾根へ
摩利支天のナイフ
リッジ



御小屋尾根を
慎重に下山